



神奈川県

KANAGAWA

登山者・キャンパーや
山林内で作業する皆さんへ

CSF(豚熱)ウイルスの拡散防止に ご協力をおねがいします。

野生いのししの間で CSF(豚熱) という病気が広がっています。
人間に感染することはありませんが、
豚に感染して養豚業に大きな被害を与えます。
ウイルスを山林から持ち帰らないよう、ご協力をお願いします。



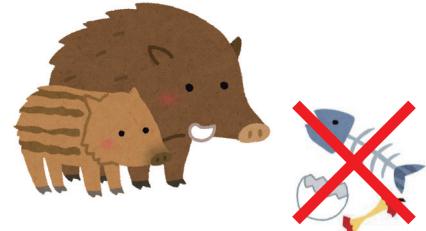
1

ウイルスは土にも含まれます。
靴の泥は山で落としましょう。



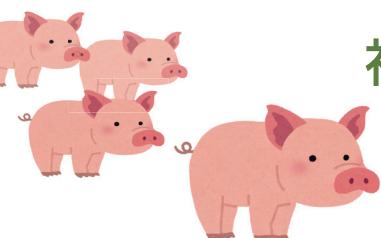
2

いのししを誘引しないよう
残飯は持ち帰りましょう。



3

家畜がいる施設に
近寄らないようにしましょう。



神奈川県では約6万頭の豚が飼養されています。
彼らのいのちを病気から守るために、
ご協力をお願いします。

神奈川県環境農政局農政部畜産課 TEL: 045-210-4518
公益社団法人 神奈川県獣医師会

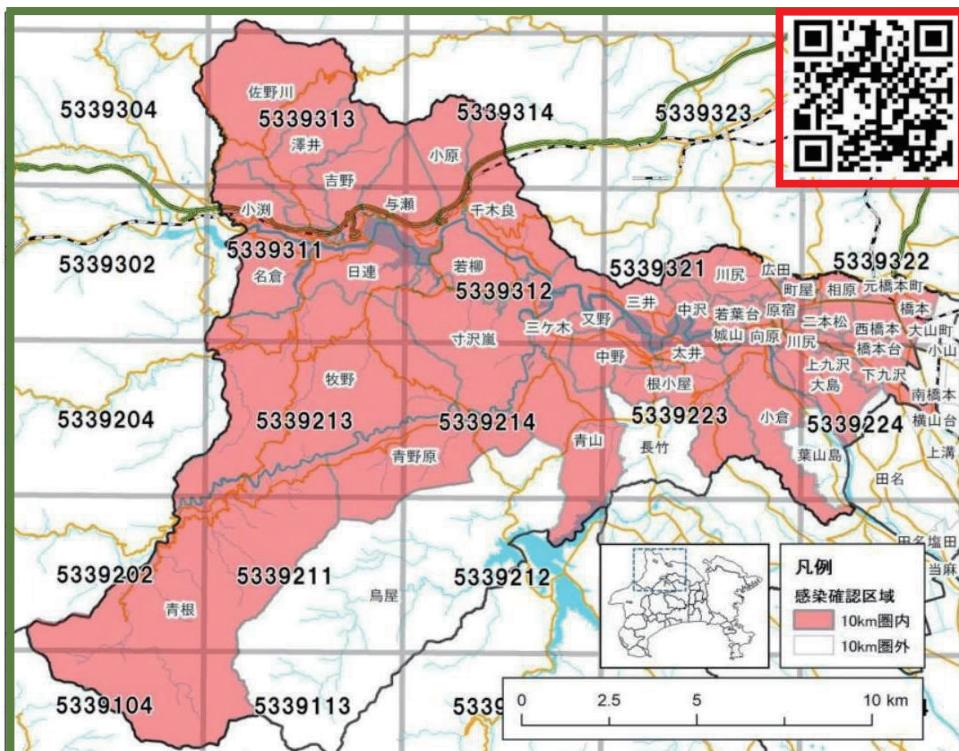
詳細は裏面へ

CSF(豚熱)についてもっと詳しく



- CSF(豚熱、旧称：豚コレラ)は、ウイルスによる豚・いのししの病気で、人には感染することなく、仮に感染した豚肉や内臓を食べても人体に影響はありません。平成30年9月から国内の豚・いのししで感染が確認されています。
- 治療法はなく、養豚農場で感染(発生)が確認された場合、他の養豚農場に広がらないよう、発生農場の豚を処分することが、家畜伝染病予防法で規定されています。
- 神奈川県では令和2年5月に初めて野生いのししでの感染が確認されており、今後、県内で感染確認区域(下図参照)が拡大していくことが考えられます。
- 養豚農場の豚への感染を防ぐためには、野生いのししと豚との接点を断つことが重要です。
- 感染した野生いのししが生息する地域の土等にはウイルスが含まれます。山に入った後、下山する前に登山口等で靴等の泥を落としてください。山に入った服装のまま、家畜がいる施設に近寄らないようにしましょう。
- 残飯を放置することで、人が行き来する登山道等に野生いのししを誘引することになり、登山者の皆さんにウイルスを持ち帰る可能性が高くなります。残飯は放置せず、必ず持ち帰りましょう。
- また、ASF(アフリカ豚熱)というCSFとは別の病気が、近隣のアジア諸国等で流行しています。CSF同様、人には感染しませんが、野生いのししへのASF感染を防ぐためにも、残飯は確実に持ち帰りましょう。

神奈川県における野生いのししのCSF感染確認区域



◀ 最新の情報は
こちらから

